

微生物 ウィーク 2019

2019年
7月22日(月)～27日(土)

東京大学
農学部弥生講堂・一条ホール
(東京都文京区弥生1-1-1)

東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩1分/東京メトロ千代田線 根津駅 徒歩8分

学生向け講演企画 企業の研究・開発の現場を知ろう

7月23日(火)～25日(木) 13:00～

会場：東京大学農学部二号館二階 化学第一教室
参加企業とスケジュール詳細はホームページをご参照ください。

懇談会 (有料、定員に達し次第締め切ります)

7月22日(月) 18:00～ 会場：山上会館

情報交換会 (参加費無料：予定)

7月23日(火)～26日(金) 18:30～

会場：弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

記念式典

7月22日(月) 13:00～13:30

挨拶

妹尾 啓史 東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構長
堤 伸浩 東京大学大学院農学生命科学研究科長
塚本 芳昭 日本バイオインダストリー協会専務理事

来賓祝辞

柳 雄介 日本微生物学連盟理事長・九州大学大学院医学研究院ウイルス学教授
五味 勝也 応用微生物学研究協議会会長・東北大学大学院農学研究科教授
高谷 直樹 筑波大学微生物サステナビリティ研究センター長・筑波大学生命環境系教授

オープニングシンポジウム

7月22日(月) 13:30～15:00

「微生物由来薬用天然物の生合成リデザイン」

阿部 郁朗 東京大学大学院薬学系研究科・CRIIM

「分裂酵母同士も「化合物」を使ってコミュニケーションする」

吉田 稔 東京大学大学院農学生命科学研究科・CRIIM・理化学研究所

「Dysbiosis関連疾患の制御法の開発」

植松 智 東京大学医科学研究所・CRIIM・大阪市立大学医学研究科

レジェンド講演会

各日 13:00～13:45

7月23日(火) 別府 輝彦 東京大学名誉教授、日本学士院会員

7月24日(水) 森 謙治(*) 東京大学名誉教授、日本学士院会員

7月25日(木) 今中 忠行 京都大学名誉教授、立命館大学上席研究員

*森謙治先生(享年84歳)は平成31年4月16日にご逝去されましたが、生前ご準備なされたスライドと原稿を用いて、滝川浩郷教授が代演致します。

JBAセッション

7月22日(月) 15:15～17:15 26日(金) 12:45～13:45

7月22日(月) 我が国のバイオ政策の新展開—世界競争を勝ち抜くために—

7月26日(金) 新育種技術(NBT)の社会展開—遺伝子組換え・ゲノム編集技術の産業利用に向けて—

シンポジウム

7月23日(火)

10:00～12:00 土壌微生物が奏でる陸域生命ハーモニー：
「共に生きて躍進する」

14:00～16:00 令和新時代における糸状菌・酵母研究の挑戦

16:15～18:15 企業研究の最前線1

7月24日(水)

10:00～12:00 微生物の連携—酵母と乳酸菌

14:00～16:00 放線菌が生産する構造多様性に富んだ化合物と
その応用への展開

16:15～18:15 企業研究の最前線2

7月25日(木)

10:00～12:00 好熱菌研究最前線

14:00～16:00 乳酸菌・酢酸菌が拓く食の世界

16:15～18:15 生物間相互作用研究の最前線—糸状菌・放線菌は
自然界で他の生物とどのように関わっているのか?—

7月26日(金)

10:00～12:00 ゲノムからみる好酸菌・耐酸菌研究の展望

14:00～16:00 人類の未来を左右する薬剤耐性菌
—プラスミドを介した薬剤耐性の伝播—

16:15～18:15 生体内小分子の検出と生物間コミュニケーション

7月27日(土)

10:00～12:00 ゲノム微生物学と細菌学の研究最前線

13:00～15:00 微生物細胞が示す振る舞いの統合的理解に向けた可視化技術

主催 東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構(CRIIM)、東京大学大学院農学生命科学研究科 **共催** バイオインダストリー協会

協賛 環境バイオテクノロジー学会、極限環境生物学会、酵母遺伝学フォーラム、酵母細胞研究会、酢酸菌研究会、糸状菌遺伝子研究会、糸状菌分子生物学研究会、新産業酵母研究会、日本ゲノム微生物学会、日本ケミカルバイオロジー学会、日本細菌学会、日本生物工学会、日本土壌微生物学会、日本乳酸菌学会、日本農芸化学会、日本微生物生態学会、日本微生物資源学会、日本放線菌学会

後援 応用微生物学研究協議会、日本微生物学連盟

